

# EVの加速度など計測

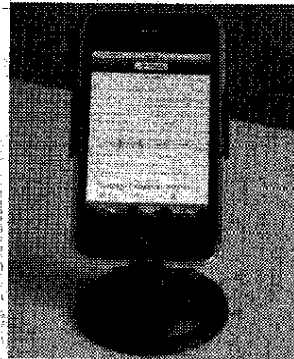
## スマートフォン 向けアプリ アートデータ開発

アートデータ(東京都世田谷区、小林明夫社長、03・5790・5300)は、電気自動車(EV)の加速度や騒音などを計測できるスマートフォン向けアプリ(写真)を開発した。東京大学生

産技術研究所との共同開発。スマートフォンに蔵されているセンサーを使い、加速度のほか、衝突レベルや道路表面の劣化度なども計測できる。中国、インドなど新興国のEVメーカー向けを中

Z方向の車体の振動レベルやモーター振動を計測。道路表面の凹凸も計測でき、道路表面劣化度を表示する。内蔵の地球測位システム(GPS)センサーで走行距離を測り、速度を計算する。騒音・静寂レベル、

衝撃度、発進から400メートルまでの平均速度も計測できる。



心に9月から販売予定。初年度で1000件の採用を目指す。

スマートフォン内蔵のセンサーでXY

測定したデータはグラフィ化し、CSV形式で電子メールで送信する。「遠隔地で測定したデータを研究所に送って即座に解析することも可能」(小林社長)。アナログ、デジタルの双方で表示し、「iPad」などでは複数のメーターを並べて表示できる。

計測にはこれまで高額、大型の機器が必要だった。同アプリは持ち運べるスマートフォンで計測できるため、複数のEVを容易に乗り比べられる。価格も数万円程度と、従来の機器よりコストを大幅に減らせる。

アプリは顧客の要望に応じて作成する。同社はEVの部品メーカーのほか、地震や振動に対する建物や橋脚の検査用途への使用も見込んでいる。

2010年(平成22年)7月16日 金曜日

日 刊 工 業 新 聞